



浦和大里小学校だより

12月号 令和5年12月1日発行

教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成

「ロング昼休み」をつくりたい

校長 中野 緑

木々が色づき始めたと思ったら、あっという間に茶色くなり、落ち葉となって校庭を舞っています。子どもたちはふかふかの上着と手袋を身に着け、寒そうに登校してきます。冬が訪れました。

10月の終わりから、運動会や音楽会など、大きな行事が続きました。それぞれの行事で「こうありたい自分」を「めあて」という形で問い続け、そこに向けて一生懸命努力する子どもたちの姿を見ることができました。温かく見守り、励ましてくださって、どうもありがとうございました。

9月の終わりごろ、5～6年生の計画委員の皆さんと一緒に、給食を食べながら「未来の浦和大里小」について話をしました。そこでは、学校を楽しく、よりよくするためのアイデアがたくさんだされました。その中で、「ぜひ実現したい!」と思ったアイデアが「週に1回、長い昼休みがほしい」というものです。現実的に考えて、掃除をなしにすれば30分の休み時間をつくることができます。外遊びもたっぷりできるし、係の仕事もできる。本も読める。縦割り班で遊ぶこともできる……。

ですが、実現するには少し、いえ、かなり心配なことがありました。それは、掃除の時間がなくなると、学校が汚くならないか、ということです。その当時、掃除の時間に、手に何も持たずにおしゃべりをしたり、追いかっこをしたりする子もいて、指導してもなかなか改善しない状況に頭を悩ませていたのです。ゴミが落ちていても拾う子はほとんどいません。「掃除、めんどくさい」「ルンバを買ってください」という子もいました。自分たちが過ごす場所を、自分たちの手で美しく保つという当たり前のことがなかなか徹底できないでいたのです。

そこで、10月の朝会で呼びかけました。「5～6年生からこんなアイデアが出ています。でも、校長先生は学校が汚くならないか心配しています。ロング昼休みと、美しい学校を両立させる何か良いアイデアはありませんか?」と。

子どもたちは動き始めました。「こんなにきれいになりました」と真っ黒になった雑巾を見せてくれる子どもがいます。「振り返りカードを作って、自分たちで取り組んでみます」と言いに来てくれた子どもがいます。「美化委員会で全校に呼びかけます。がんばっていることを放送して、盛り上げたいです。」と役割を生かして取り組めることを考えた子どもがいます。「みんながんばって掃除をするようになったので見に来てください」と誘ってくれる子どもがいます。きっかけは「ロング昼休みがほしい」というスタートでしたが、試しに一所懸命掃除をしてみたら、みるみるきれいになる床に感動したらしく、「掃除って意外と楽しいねえ」という声が聞かれたときは嬉しくなりました。

子どもの前向きなエネルギーにはいつも心を動かされます。夢と現実の折り合いをつけたロング昼休み。12月から、週1回実施してみようと思います。

◆学校ホームページ内において子どもたちの日常を発信しています。「学校生活」をぜひご覧ください。◆